

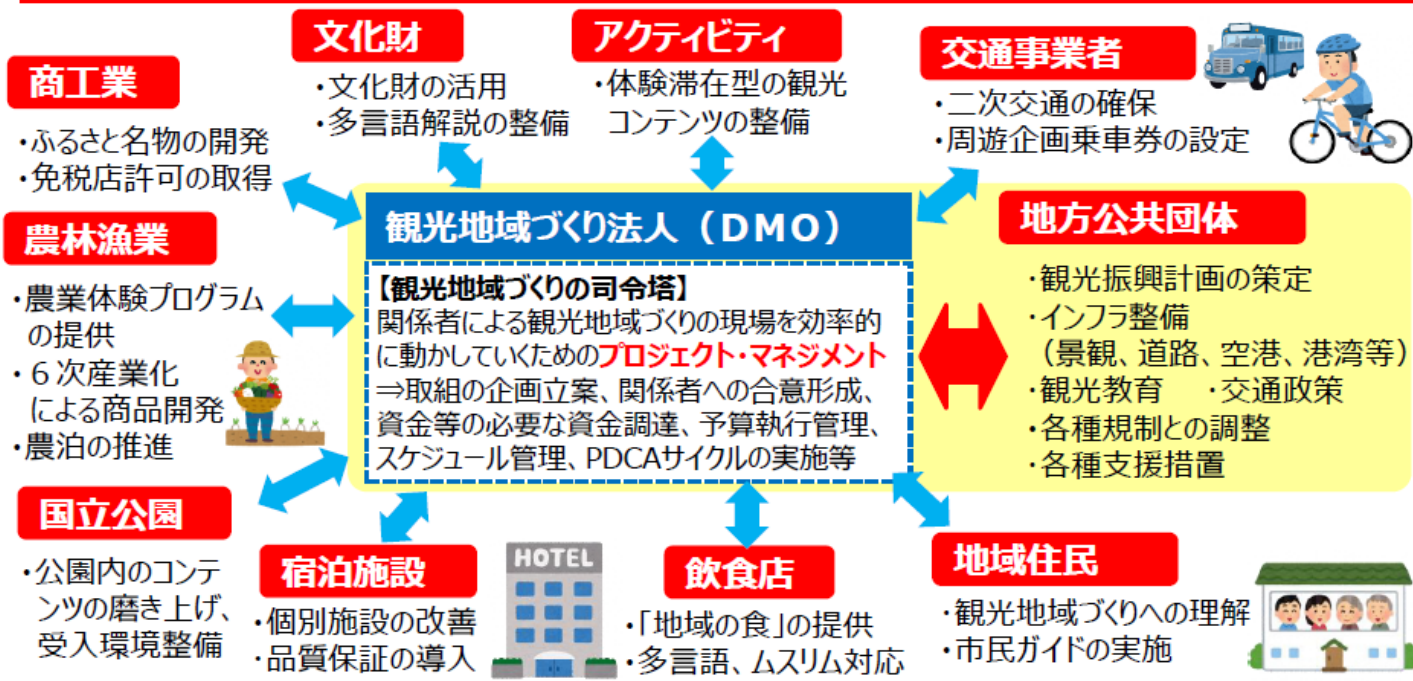
## 観光地域づくり法人 (DMO)

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人

DMO : Destination Management / Marketing Organization

### 地域の関係者を巻き込んだ体制の構築

観光地域づくり法人(DMO)を中心とし、地域の関係者が主体的に参画した体制を構築



地方誘客・旅行消費拡大

# 観光地域づくりの課題（なぜ観光地域づくり法人（DMO）が必要か）

- 観光地の競争力を上げていくためには、民間による取り組みと行政の取り組みだけでは不十分で、全体の体験価値を高める取組が必要になる

## 特徴的な魅力

なくても不満は生まれないが、これがあることが地域の特徴を作り、地域魅力を大きく加点する要素

【例】特徴的な宿泊・飲食・イベント等

## 基礎的な魅力

その整備の度合いが、魅力の加点、減点に直接的に関係する要素

【例】宿泊・飲食・お土産の選択肢の提供  
複数資源の組み合せた商品づくり  
産業間連携、閑散期対策

## 不可欠な要素

存在しないと不満を発生させるが、過度に整備しても満足度を高めることは無い要素

【例】地域交通  
公衆トイレ、観光サイン、Wi-Fi整備  
補助金支援

民間投資

## 民間投資で創造

特徴的な魅力は、民間の創意工夫から生まれる。民間の新たな挑戦を継続的に促す環境づくりが重要。

官民連携

## 官民連携で創造

観光地域の基礎的な魅力は、官民双方が協調的に取り組むことで整備され、創造される。

⇒民間では採算が取れず手が出せない挑戦に対し、公費を投入して実現することで、**地域全体としての経済効果を生み出す。**

行政主導

## 行政主導で対応

不可欠要素は対応が求められる最低ラインとなるため、住民&来訪者双方を対象とした公共的なサービスとして提供する。

# 観光地域づくりの課題（なぜ観光地域づくり法人（DMO）が必要か）

## 全国における観光地域づくりに関する課題

### 多様な関係者の巻き込みが不十分

- ・地域に息づく暮らし、自然、歴史、文化等の地域の幅広い資源を最大限に活用できず、旅行者のニーズの多様化に対応できていない

### データの収集・分析が不十分

- ・「どんな人が」「どんな所へ」「どうやって」来ているのか、自分たちの地域を訪れている観光客の基本的な情報の把握ができず、変化する観光市場に対応できない

### 民間的な手法の導入が不十分

- ・「顧客視点(=マーケットイン)」の発想に立脚した戦略がとられておらず、提供する旅行サービスや環境の品質が不十分
- ・旧態依然としたマスプロモーションなどが戦略の主流であり、効果的・効率的な取組みができていない



## 魚津市における観光地域づくりに関する課題

### 観光振興の中心を担う“リーダー”的な団体や者が不在 ※第3次魚津市観光振興計画より

- × 行政………公平、平等性の観点から特定の観光施設やサービスを発信することが難しく、顧客視点(=マーケットイン)の視点が欠けた取組みになってしまう傾向がある。
- × 観光協会…商工会議所と兼務状態であり、他の業務やイベントを多く抱えているため、人的リソースが不足している場合、観光振興が最優先事項になりにくい。
- × 共通………行政や商工会議所では、人事異動が頻繁にあり、観光に専念するスタッフを配置できないため、専門的な知識と経験の蓄積、関係者とのネットワークの維持が難しい。



観光振興に専念する独立した組織として、

**観光地域づくり法人(DMO)**

の構築が必要！！

## 市役所

目的&役割：  
財源を持つある種のファンド組織。  
お金と事業のコントロールを行う！

- 業務：
- ・国への事業申請&折衝
  - ・予算執行(事業づくりと伴走)
  - ・観光振興計画推進協議会運営
  - ・広域連携(県・新川地域など)
  - ・ハード整備・管理
  - ・観光宣伝
  - ・補助金支援

など

## 魚津商工会議所

目的&役割：  
過去の伝統的取り組みを繋ぐ組織。  
地域の賑わいや関係性作りをやる！

- 業務：
- ・イベントの実施・運営
  - ・イベントのブラッシュアップ  
(ex.じゃんとい魚津まつり、イルミラージュUOZUなど)
  - ・その他商工会議所事業

など

## 観光地域づくり法人(DMO)

目的&役割：  
観光振興の舵取り役・調整役として観光地経営を行う組織。観光  
による地域全体の経済効果を最大化する！

- 業務：
- ・戦略策定、マーケティング
  - ・観光コンテンツ開発
  - ・プロモーション
  - ・観光案内所運営
  - ・ふるさと納税事務局、特産品開発
  - ・レンタサイクル事業

など

## まちづくり会社

目的&役割：  
産業・経済振興に対する地域の諸課題の解決に向けて、行政や商  
工会議所等と連携しながらスピード感を持って、効率的で効果的  
に取り組む！

- 業務：
- ・リノベーション等による物件の管理、運営
  - ・国、県、商工会議所と連携した創業、事業継承支援
  - ・魚津駅前周辺等の賑わいづくり
  - ・公共施設等の運営管理

など

## 観光振興計画に記載された重点施策との整合

### 観光地域づくり法人による観光推進

#### 魚津市版DMOが展開する4つの事業領域案

#### I 地域マーケティング事業

- 観光情報収集による市場分析
- 宿泊者数・満足度等の指標の調査・分析業務
- 魚津駅観光案内所運営 ※旅行者との接点として

#### II 観光コンテンツ開発事業

- 観光ツアーや体験コンテンツの開発・販売
- 上記を繋げた旅行商品の企画開発
- 観光ガイドの確保・育成

#### III プロモーション事業

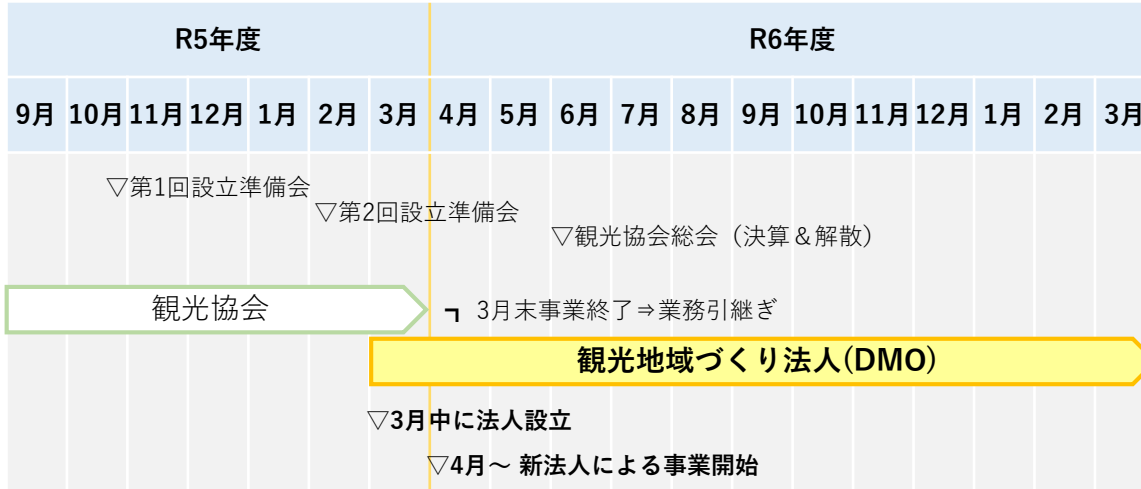
- BtoC…観光・イベント情報の広報  
情報発信HPの管理・運営  
(魚津市観光協会HP、とやま観光ナビ等)
- BtoB…旅行会社との商談・営業活動

#### IV 地域ブランド事業

- 特産品の開発・ブランディング
- ふるさと納税事務局業務の受託 (?)

- A** 施策⑦観光協会の組織強化と  
関連事業者と連携した観光地域づくりの推進
- C** 施策①観光ガイドの確保と育成
- C** 施策③駅前を中心とした観光案内機能の強化
- C** 施策⑫データ分析結果に基づく  
メリハリをつけた観光戦略の作成と共有
- B** 施策⑫旅行者ニーズに応じた  
体験プログラム・旅行商品の開発
- C** 施策⑬市内周遊を促すモデルコースの設定と情報発信
- C** 施策⑯ターゲットに応じた  
効果的なプロモーションの展開
- B** 施策⑩海の恵み・大地の恵みの高付加価値化

## 案① 観光協会を**発展的解散** ⇒ **新たに観光地域づくり法人を設立**



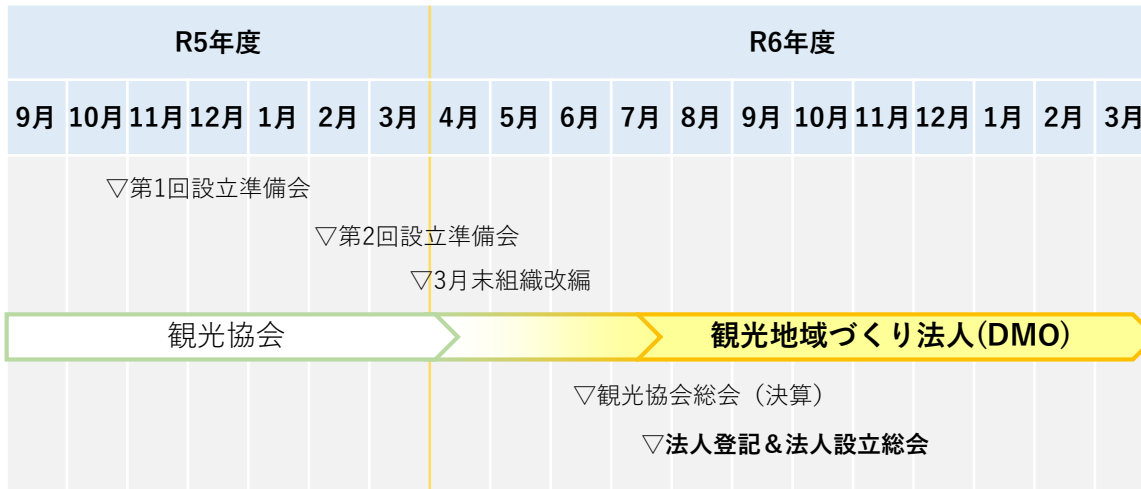
### ◎メリット

- ・注目度、インパクトが大きく、市内事業者へ存在感をアピールできる。
- ・新しい方針やアプローチを採用しやすく、観光振興のために必要な柔軟性を持つことができる。

### ×デメリット

- ・組織構築にあたって、時間とリソースがかかり、早急な成果が期待できない。

## 案② 既存の観光協会を**組織改編** ⇒ **観光地域づくり法人として法人化**



### ◎メリット

- ・既存事業の継続性が確保され、スムーズな引継ぎ・運営移行が可能。

### ×デメリット

- ・外部へ与えるインパクトが小さく、変化がアピールできない場合、存在感を発揮できない。
- ・既存の役員や会員等の関係者が変化に対して抵抗することがあり新しい方針での実施が難しい。

# 第1回設立準備会（10/30）での主なご意見・ご質問抜粋

委員	内容	今後の対応
<p>大愛委員 （魚津商工会議所）</p>	<p>一度の説明ではなかなか理解できないため、事例等があるとわかりやすい。                      現行の観光協会は市の補助金、商工会議所の補助金、一般の協賛・寄付で成り立っているが、人口減少、不景気の中では、補助金も協賛・寄付もどんどん少なくなっていき、観光に係る施策に取り組むことができなくなる。                      収益事業を実施していく点でも国からの補助金を受けやすいという点でも、魚津市でもDMOを取り入れて、豊富な観光資源を生かした取り組みを行っていくべき。</p>	<p>他地域の事例を今回提示。</p>
<p>谷川委員 （魚津タクシー協会）</p>	<p>多様な関係者が関わるということで、理事、監事が重要な団体になってくると思われる。引き続き検討されたい。</p>	<p>組織体制（案）を今回提示。</p>
<p>早川委員 （魚津飲食業組合）</p>	<p>話を聞いていると、専門的な知見を有する非常に優秀なスタッフが必要となりそう。そのような人材を獲得するメドはあるのか。</p>	<p>まずは当法人の専任のスタッフの確保を行い、その後国の支援事業者、地域活性化企業人制度などを通して、専門性を培っていきたい。</p>
<p>伊東委員 （観光ボランティアじゃんとこい）</p>	<p>観光案内所では、来訪者がどんな人で、どこから来て、どこへ向かうのかといった情報を持ってはいるものの、現在の兼務状態の観光協会では中々手が回らず活かされていない。                      観光特化の組織としてそれらを活用していくということならば、DMO組成に関しては賛成。</p>	<p>観光案内所は来訪者との接点として非常に重要なものであり、そこで得られる情報は、今後の観光施策にしっかり活用していきたい。</p>

# 第1回設立準備会（10/30）での主なご意見・ご質問抜粋

委員	内容	今後の対応
堀委員 (魚津市施設管理公社)	スケジュールについて、観光協会解散＆新法人設立を推す。 じゃんとこい魚津まつり等の既存のイベント事業は、市、商工会議所を中心とした連携体制で取り組み、観光協会は発展的解散が良い。	観光協会解散＆新法人設立の方向で組織体制（案）を今回提示。
吉田委員 (新川森林組合)	責任の所在が曖昧になってはいけないため、新法人、新たな体制での観光推進を推す。 設立後も、先行事例などを勉強しながら責任を持って観光施策に取り組まれない。補助金をもらうためだけの団体とならないように。	同上。
清河委員 (魚津市ホテル旅館組合)	観光に携わる方々はたくさんいるが、その点と点を繋げる取組みがなかなかできてこなかったと感じている。DMOを通して観光産業全体を俯瞰した取組みが可能ということであれば、設立は賛成。	組織体制(案)、事業計画(案)として今回提示。